

地域産業の担い手育成総合戦略事業
～地域資源を活用した専門的職業人の育成事業～
事業報告書

1 学校番号、学校名

学校番号	7	学校名	岐阜総合学園	高等学校
------	---	-----	--------	------

2 実施内容

○実施内容

1. タイトル

「ディスカバー岐阜」

～岐阜から全国へ、そして世界へ魅力を発信 地方高校生でもこんなことができる!～

2. 目的

地域の方々と協働して企画・運営を行うことで、地域のことを知り、地域に根差した自分のあり方を見つめ、将来の地域を担う資質・能力を身に付ける。

2-1. 目標

- (1)課題を見つけ、解決するために自ら一步踏み出す力を身に付ける。
- (2)必要な情報を収集しそれを統合し、課題解決に向け活用し諦めずに考え抜く力を身に付ける。
- (3)様々な価値観や年齢・性別のある集団のなかで、コミュニケーションをとり協働して困難な課題にチームで立ち向かえる力を身に付ける。

2-2. 方針

- (1)考え抜く力、一步踏み出す力、チームで動く力を総合的に養う総合型実践学習としての教材を企画する。
- (2)身近に既にあるものを地域資源として活用し、岐阜を全国に向け発信できるような教材を企画する。
- (3)教員と生徒、地域の大人と生徒、学校間を超えた生徒間など、様々な集団で共に働ける教材を企画する。
- (4)学校は、生徒が主体的に企画や運営を仲間と協働しながら立案・行動できる環境を整える。
- (5)年間及び単元評価計画の観点は、生徒の学びのプロセスを重視し、結果を重視しない。

3. コンセプト

「Discover 岐阜」 岐阜の魅力発見写真展

- ①岐阜の魅力・頑張っている岐阜の様子などテーマを決めて写真を撮影・募集する。
- ②会場を準備し、写真を展示・説明する。
- ③展示期間中にイベントの日を設け、総合学園生らしい出し物を行う。
- ④投稿された写真は賞を設けて投票を行い、表彰された投稿者には記念品を贈呈する。

4. 体制

4-1. 校内組織

- ・ふるさと教育推進委員会…校内体制づくり、方針決定
- ・ふるさと教育実行委員会…各系列担当職員、生徒実行委員 41 名（有志）
- ・写真選考委員会…表彰作品選考
(芸術文化系列・情報システム系列・観光ビジネス系列生徒各 2 名、教員、瀬古写真)

準備班編成（系列ごとに分担）

写真班	運営班	展示班
情報システム系列	自然科学系列 観光ビジネス系列	環境テクノロジー系列
写真募集（Twitter、Instagram）・Web 広報・印刷等	会場交渉・企画書立案・表彰内容/賞品調達・諮問委員会	写真展示企画・イーゼル製作・搬入・レイアウト
イベント班	広報班	デザイン班
スポーツ科学系列 生活福祉系列 メカトロニクス系列	芸術文化系列（音楽） 国際文化系列	芸術文化系列（美術書道） 情報システム系列
当日イベント企画運営・スタンプリヤー	ロゴ・ポスター作成・ビラ配り・メディア出演	ロゴ作成、商品券作成、メダルデザイン等

4-2. 外部人材

岐阜柳ヶ瀬商店街連合会…写真展示会場と副賞の提供、理事会への生徒の参加
 岐阜柳ヶ瀬劇場通り北商店街連合会…発表ステージ提供、当日運営
 株式会社瀬古写真…写真選考委員会として参加
 岐阜聖徳学園大学学生 8 名…イベント計画を補助（ボランティア）
 岐阜新聞・中日新聞・CCN…イベント告知
 東海テレビ上山真未アナウンサー…岐阜県ゆかりの人物としてインタビューを実施
 Twitter、Instagram により一般の方が数多く参加

5. 準備スケジュール

2 年次（R 元年度）では月に一度、3 年次（R2 年度）では週に一度の総合的な学習の時間にて企画・準備を行った。

令和元年度（2 年次）

12 月 16 日 「Discovery 熊野」代表 平嶋大雅様講演
 1 月 17 日 生徒実行委員会招集
 1 月 20 日 系列ごと企画案
 2 月 20 日 全体会議・来年度の動きについて

令和 2 年度（3 年次）前半

6 月 1 日 全体会議
 6 月 22 日 評価基準・景品等会議
 6 月 29 日 ロゴ会議
 7 月 6 日 イベント 1 次審査
 7 月 27 日 写真募集開始
 9 月 7 日 イベント確定審査
 10 月 19 日 写真募集〆切
 10 月 26 日 写真選考委員会にて決定
 11 月 9 日 SOGO 賞の決定
 11 月 25 日 展示用イーゼル搬入
 11 月 27 日 前日積み込み
 11 月 28 日 当日



▲景品の作成（金属加工）



▲大学生を交えて話し合い



▲KP 法を使用しプレゼン（紙芝居プレゼン法）



▲12/16 講演会

6. 実施内容

6-1. 写真募集について

(1)募集テーマ

岐阜の魅力を発信する写真コンテスト＝【岐阜の魅力を再発見】できるような写真や【あなたしか知らない岐阜】を紹介できるような写真を募集

(2)募集期間 令和2年7月27日～令和2年10月19日まで

(3)応募方法

Twitter、Instagramに①年月または年・季節、②撮影場所、③一言を記載しハッシュタグ（#ディスカバー岐阜）を付けて投稿

(4)応募資格

プロ、アマチュア、年齢、性別、国籍を問わずどなたでも応募可能

(5)応募枚数 一人3枚まで

(6)注意事項

別のコンクール等で発表されたものや著作権法違反となる投稿は無効
投稿された写真は印刷したものを柳ヶ瀬商店街に展示

オンライン上でも発表予定のため、そのことを理解したうえで投稿を

(7)募集結果

応募総数 332 枚 (Twitter82 枚、Instagram250 枚)

応募基準に達している枚数 179 枚 ※一人3枚までに選考委が制限
投稿人数 84 名

(8)表彰 : Discover 岐阜大賞 1名 … 生徒選考委員、教員、カメラマンによる選考

Discover 岐阜賞 3名 … //

SOGO 賞 5名 … 選考委員が選定後、総合学園3年次による投票

(9)副賞 : 柳ヶ瀬で使える商品券 (3万、1万、5千)

※岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会様からのご厚意にて準備



▲大賞作品

6-2. 写真展示について

日時 : 2020年11月25日(水)～28日(土)

会場 : 岐阜市柳ヶ瀬商店街

○メイン会場 (11/28(土)のみ)

劇場通り北商店街 高島屋前ステージ周辺

○スタンプラリー会場…岐阜市柳ヶ瀬商店街指定店舗 (13店舗 18か所)



▲写真展示とイーゼル



▲メイン会場



▲スタンプラリー

6-3. 結果発表イベント

日時 : 2020年11月28日 (土) 11:00～14:30

会場 : 岐阜市柳ヶ瀬劇場通り北商店街 高島屋前わくわくステージ

タイムスケジュール :

10:00 スタンプラリー受付開始、呼び込み開始

11:00 オープニングイベント

(11:00～総合学園太鼓部演奏 11:30～企画概要説明)

12:00 休憩・セッティング

13:00 イベント再開

(13:00～プレゼン『東海テレビ上山アナインタビュー』

13:20～結果発表・表彰 14:10～生徒によるダンス)

14:30 イベント終了

参加者アンケート：

アンケート枚数：33 枚、受付した数：57 名

イベントを知った理由：学校 24 名、柳ヶ瀬 3 名、その他（通りすがり）など
スタンプラリー 評価 5 24 名…位置が違った、楽しかった×3

写真パネル 評価 5 23 名…いい写真ばかり、きれい、風でパネルが倒れたのが惜しい
生徒の様子 評価 5 24 名…受付が丁寧で素敵

岐阜の魅力は再発見できましたか？評価 5 23 名

お住まい 可児市、本巣市、大垣市×2、各務原市×5、岐阜市×11



▲看板を持って呼込



▲太鼓部による演奏



▲結果発表・表彰

○成果と課題

- ・写真募集を通して、新たな地域の魅力を発見することができた。SNS を利用することで、広く一般の人に告知・岐阜の魅力を発信することができ、高校生自身が地域に生きているということ意識し、また、自分の住んでいる地域の魅力を再発見することにつながった。
- ・生徒が主体的・対話的・協働的に学ぶ機会となった。「新型コロナウイルス感染症が広がる中でどのようにイベントを企画すべきか」「商店街に展示するのであれば、効果的な方法は何か」「より多くの人に広報するにはどうしたらよいか」など、具体的な課題に対して各班内で話し合い、他の班や商店街と打ち合わせを行い、自分たちの理想ややりたいことを体現するにはどうすればよいのかを考え抜くことができた。
- ・総合学科で3年間学んだことを活かす機会となった。環境テクノロジー系列による木材加工、芸術文化系列によるデザイン、観光ビジネス系列による賞品や表彰検討など、各系列の特色を発揮して企画運営をすることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の人々と協働する時間が大幅に減ってしまった。また、会場決定や折衝など、本来であれば生徒が行うはずの部分を教員がやらなければならない場面も多かった。地域に開かれた学校づくりの観点から、地域住民との交流は何らかの形で続けていくべきだと思うが、やり方は今後工夫していかなければならない。
- ・このような取り組みに対して、継続性を持たせることが課題である。企画の段階から地域のニーズを聞くにはどうしたらよいか、作成した物品を地域にどう還元するかなど、地域とのつながりを今後も維持していくための方策を考える必要がある。

3 評価内容

○アンケート結果

12月14日(月)振り返りワークシートを実施

地域のために高校生ができることは何だと思うか。

- ・岐阜市は高齢者が多い。また、家族がおらず一人で住んでいる高齢者も多いと思うから定期的にそのような家に訪問したりすると思う。／特にお年寄りの一人暮らしの方は、行動範囲が狭くなってしまっている中で孤独を感じている人が多いと思うのであいさつなどで私たちが少しでも元気づけられればいい。
- ・SNSを使って地域の良さを広めることはこのイベントが終わった後でもできる事だと思うので、飲食店などコロナの影響を受けている所へインタビューし、まとめた記事を挙げるなどSNSを使った何かが出来ると思う。
- ・ディスカバーのようにイベントをやるのもいいだろうが、コロナ禍のため外に出るのも難しい。したがって若者が出来ることはコロナをできるだけ広げないこと。⇔家で静かに過ごすことも

大切だと思うけど、ディスカバーのような街を盛り上げる活動も大切だなと思いました。明るいイベントが必要であると考えた。

- ・ディスカバー岐阜を通して様々な人とかかわってきたと思う。コロナ社会で密を避けることは難しいがやはり地域の方とコミュニケーションをとることが大切だと思う。イベントを通して岐阜の良さを伝えられたと同時に人と人が支えあっていける社会にしていきたいと思う。
- ・ディスカバーを柳ヶ瀬商店街でやったのは町おこしの助けになったと思う。こうやって商店街や町を知っていただくことが大切だと思うので、SNSなどで拡散することはとても有効だと思う。／今まで名古屋でしていた買い物を地域中心とする。旅行を近場でして穴場スポットや料理など岐阜の魅力を再発見する。

企画をやってみた感想

- ・岐阜に住んでいるのに知らなかった岐阜の良さに気づけたしそれをうまく街の人に伝える手伝いが出来たので良かった。街の人を楽しませるイベントにできて良かった。
- ・ディスカバー岐阜をやってみてとてもいい活動だなと思いました。地域の方が協力し合い岐阜を盛り上げようとしていたからです。今後もこの活動を行い、コロナが収まったらもっと幅広くイベントを行えると思います。さらに盛り上がるのではないかと思います。
- ・参加する姿勢が見えず仕事あまり来なかった。しかし、その仕事を集中してまじめに取り組むことが出来た。このイベントを通して自分が見つけられなかった岐阜のいいところを見つけられてよかったと思う。
- ・忙しい系列と仕事が少ない系列で差があり、仕事量の違いでもう少し考えたほうがいい。正直自分たちが必要なかわからなかった。自分で企画を行い、もう少し考えたものや責任を持つ人たちとやってみたかった。
- ・私自身将来街や企業を知ってもらえるような職に付きたいと思っているので、企画の内容自体はとても興味深かった。ただ、コロナによる休校や密を避けた結果生徒が主体となる企画ではなかったのではないかと感じた。大学に進学して街を盛り上げる企画があれば参加してリベンジしたいと思う。来年も同じ企画をすることがあれば、岐阜の状況をまず知り街の方や地域の方の話を聞くべきだと思う。しかしコロナとどう向き合っていくかも考えていかなければならない。
- ・デザインは今までに自分が得た能力を発揮することが出来たし、写真のトリミングや額入れなど今までやったことのない仕事をするのが出来て今後にも生かしていきたいと思った。
- ・企画から運営まで生徒主体でイベントを成功させることができてよかった。学校外で活動したことで責任の重さを感じ、貴重な経験をする事ができた。
- ・想像していたよりも多くの方が参加してくださり、写真を通して岐阜の良さやいいところを知ることができたし、参加して下さった方にも知っていただくことができたと思う。
- ・準備が大変で、目的や自分たちがやっていることがわからなくて困ったころがあったけれど、やってみたら意外とうまくいって高校生でもできることもあるのだと実感した。

○取組みに対して、協議会委員、連携企業先・大学等からいただいた御意見

- ・写真コンテストの表彰には生徒だけでなく、大人が入ってアドバイスをしあわせてほしい。
- ・昨年の段階ではどのような内容をやるのか不透明であったが、企画が固まってきたらとても良い内容だと感じる。生徒の経験にもなるし、コロナ禍で大変な思いをしている商店街の盛り上げにもつながると思うので、頑張ってもらいたい。